

呉・東広島

中国新聞 2021.08.27

東広島で感染急拡大

酒提供2店でクラスター

東広島市で新型コロナウイルスの感染が急拡大している。25日には31人の感染が発表され、直近1週間の新規感染者数は人口10万人当たり102・01人となり、初めて100人を超えた。酒類を提供する2店ではクラスター(感染者集団)も発生している。

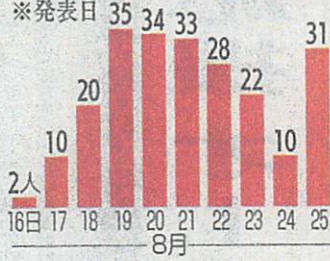
(高橋寧々)

市、サポート拡充検討

市内での新規感染者数の発表は10日から16日連続。1日当たり10人以上が9日間続いております、19日は過去最多の35人に上った。

市内2カ所で発生したクラスターでは、25日までにそれぞれ7人と17人の感染が判明。県によると、いずれの店舗も消毒の徹底や換気、アクリル板の設置をし

東広島市の新規感染者数



ていたという。市は最近の状況について

呉支社 ☎0823(2)5525 FAX(2)4817
 東広島総局 ☎082(4)2660 FAX(4)0124
 竹原支局 ☎0846(2)3393 FAX(2)0027
 江田島支局 ☎0823(4)0113 FAX(4)0008

て、ワクチン接種が進んでいない20代と、幼児や小学生のいる家庭での感染が目立っていると説明する。

若年層向け接種啓発が課題

新型コロナウイルスのワクチン接種で若年層向けの啓発が課題になっている。呉市は16・29歳を対象に千人の予約枠を設けて24日朝に受け付けを始めたが、埋まるのに丸2日かかり、「各年代と比べてペースが鈍かった」とする。

市のプロジェクトチームは「重症化の心配が少ない一方で副反応が出やすいとされるため、抵抗感が一定にある」とみる。市内の感

市新型コロナウイルス対策室は「医療体制の逼迫で自宅療養者の増加が危惧される。サポート体制の拡充を検討する」としている。

呉市も26日、21日の公表と並んで過去最多となる23人の新規感染を発表し、拡大傾向。25日までの直近1週間の人口10万人当たりでは48・65人となる。

感染者に占める29歳以下の割合は増加傾向にあり、情報発信を強める方針だ。

東広島市は、これまで個別接種のみだった12・15歳を9月5日以降の集団接種の対象に加え、予約を取りやすくした。広島国際大の江原朗教授(医療政策)は「ワクチンは自分だけでなく、身近な人を守る意味もある。若い人も打った方がいい」と指摘する。

(東谷和平)